

令和7年度ひろしま自然保育推進事業 活動報告書

○活動報告書は、HP で公表しますので、公開可能な内容としてください。
○データのサイズは、写真を含め、8M以内に収め、ワード文書にて提出してください。
○こちらの報告書フォームに沿って全て記入してください。

令和8年3月31日

団体所在地 広島県安芸郡熊野町中溝 4-19-4
団体の名称 学校法人猪野学園 認定こども園聖徳幼稚園
職・氏名 園長・猪野一乗
(施設名 聖徳幼稚園)

1 活動報告

【4月～6月】(春季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列
・春見つけ
・田植え
・虫探し
・ピーピー豆
・さくらんぼの収穫
・イチゴの収穫
・泥遊び

【7月～9月】(夏季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列
・夏野菜の栽培、収穫
・飯盒炊爨
・虫探し
・カブトムシの世話
・デラウェアの収穫
・はっぱあそび
・泥遊び

【10月～12月】(秋季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列
・コスモス畑に遠足
・稲刈り、脱穀
・焚き火
・焼き芋
・おちば遊び

【1月～3月】(冬季)

(活動内容)・箇条書きで実施した内容を羅列
・雪遊び
・藁遊び
・焚き火
・焼き芋

活動報告（詳細）

1シーズンにつき最も印象的だった活動のエピソード1つご記入してください。

エピソードは、活動プロセス、保育者の関わり、子どもの育ちの見取りを端的にお願いします。

写真は基本1枚です。

【4月～6月】

(写真)



(エピソード記述)

今年は好きな野菜のある子がチームを作り、それぞれの野菜栽培に取り組んだ。

保育者は、苗や土を準備した。

子どもたちは自分の好きな野菜を栽培できるということで、植える前から楽しみにしている様子だった。

自ら選んで育てたということもあって、我が子のように愛着を持って水やりなど世話をする様子が見られた。

また、野菜によって育て方が違うことやお世話をしすぎてもよくないことなどに気が付く子もいた。

結果的にうまく収穫ができなかった野菜もあったが、次につながる活動だった。

【7月～9月】

(写真)



(エピソード記述)

飯盒炊爨

年長組が昨年収穫したお米を使って、飯盒炊爨をした。デイキャンプの時にカレーのご飯を炊く練習。

保育者は、精米したお米と飯盒とガスコンロを準備した。

保育者からの指導を受け、お米をあらひ水加減を調節し、火にかけ、蒸らし、ご飯を炊いた。

ガスコンロで炊いたこともあり上手に炊けた。

それぞれ自分でおにぎりにして食べることができた。

「おうちでもできそう！」「いつものお米と味が違う！」などそれぞれに発見や経験できたことがあった。

【10月～12月】

(写真)



(エピソード記述)

脱穀した後の藁をいろんな遊びに展開した。

保育者は、藁を田んぼに戻さず、あえて園庭に大量に残した。

子どもたちにとって非常に扱いやすい素材で、様々な遊びに展開していった。

かけてふとんにしたり、たくさん重ねてトランポリンにしたり、編んだり、焚き火に入れたりチューリップやパンジーの布団にしたり、おままごとに使ったりと遊び方は無限大。

子どもたちの創造性を育んだ。

【1月～3月】

(写真)



(エピソード記述)

雪遊び

今年は園庭に雪が積もった日があった。

保育者は、そりと焚き火と着替えを準備した。

子どもたちは初めての雪遊びの子もいたが、年少の乗るそりを年長が引っ張るなど、協同して遊ぶ姿が見られた。

手がかじかむと焚き火で暖を取り、また遊びに参加することができる子もいた。

色水をかけてかき氷にしたり、小さな雪だるまを作ったり、雪に親しみを持って遊ぶ様子が見られた。

2 その他（自然体験活動の実施における今年度のプロセス）※記入必須

- ・ 職員の資質向上について

（例）こども環境管理士を担当保育士が取得（12月）

菊間馨先生に講師をお願いし、「なぜ自然保育が必要か？」というテーマで、園内研修を実施。（8月末）

- ・ 地域との関わりについて

（例）専門知識のある地域の方に園庭のぶどうの木の選定や野菜づくりを月一回交流（毎月）

- ・ 保護者との関わりについて

（例）果物や野菜を保護者と一緒に収穫（毎月）

参観ウィークの時、園庭で保護者と遊んだ。（年2回）

- ・ その他

＊より詳しく活動をアピールしたい施設は、ホームページや SNS の URL をご記入ください。

U R L	https://www.inogakuen-seitoku.com/
-------	---